



黒島魂

～しまごころ～

「みがきあい(キラキラ)」

「ささえあい(ニコニコ)」

「わかりあい(ワクワク)」

おめでとうございます！

換気や身体的な距離の確保等の新型コロナウイルス感染症対策を継続しながら、原則島内在住のご来賓の皆様をお招きし、本日令和4年度佐世保市立黒島小中学校、黒島はまゆう学園、卒業証書・修了証書授与式を執り行いました。

卒業生、修了生の皆さん、並びに保護者の皆様、誠におめでとうございます。

式辞の中で、卒業生には、今年の大河ドラマの主人公である徳川家康にまつわるとされる次のエピソードを紹介しました。

幼少期の徳川家康は、今川家の人質となりました。はじめ今川家の家臣は、家康に粗末な食事や規律ある行動、厳しい鍛錬を強いていました。人質である家康に対する扱いとしては、至極当然のことだと思われそうですが、そのことを知った今川義元は、激怒したと言われています。なぜならば、家康が武人として立派に成長し、将来自分に敵対することを恐れたからです。そして、次のように命じたとされています。

「朝は好きなだけ長寝させ、贅沢な食事を与え、武術や学問は無理強いせず、本人の望むものは何でも与えてあげなさい。そうすれば、大概の人間はダメになる」

つらいこと、苦しいことを乗り越えることは、精神的にも肉体的にもかなりの負荷がかかります。しかし、そこから逃げていると、成長を望むことはできません。立ち向い、乗り越える努力をした先にこそ、明るい未来は存在することを伝えました。

修了生には、アメリカのメジャーリーグで活躍する大谷翔平選手の高校時代のエピソードを紹介しました。

大谷選手は高校時代「8球団からドラフト1位で指名を受ける」という大きな目標を設定し、そのためにやるべきことを具体的に8つ設定します。そして、そのためにやるべきことをさらに細かく設定し、実践していたそうです。

後期課程は前期課程の半分の3年という短い期間で「夢の実現 15の春！」を、自分の手で掴み取る必要があります。その3年間で、自分の「夢の実現」に向けて、将来何をめざし、そのためにすべきことは何かを、見つけるよう話をしました。

お子様の卒業と共に、育友会を卒業される〇〇様、長い間、本校教育活動や育友会活動にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございました。これからも黒島小中学校、黒島はまゆう学園の応援団として見守っていただきますようお願い申し上げます。我々教職員は、卒業生が誇れる学校づくりに、今後も邁進し続けることをお約束いたします。

卒業生・修了生の皆さんの今後ますますの活躍を期待します。

